

目白大学大学院言語文化研究科(各専攻共通)

2019 年度 第Ⅱ期入学試験問題 小論文(60 分)

(一般入学試験)

試験時間：10 時 00 分～11 時 00 分(60 分)

注意事項

1. 問題冊子は開始の合図があるまで開かないでください。
2. この問題冊子の総頁数は、表紙を含め 5 頁です。
3. 解答用紙の所定の欄に、受験番号、氏名、フリガナを記入してください。
4. 解答はすべて「解答用紙」の所定のところに書くようにしてください。
5. 試験時間が終了するまで退室は認めません。
6. 問題冊子は、試験終了後に回収します。

目白大学大学院

2018 年 12 月 8 日(土)実施

次の問題 1 あるいは問題 2 のいずれかの問題を選択して解答しなさい。
(選択した問題の番号を解答用紙に記載すること。)

問題 1 次の文章を読み、下記の問(1)および問(2)に答えなさい。

著作権法に基づき公開しておりません。

著作権法に基づき公開しておりません。

(出典：宮原 浩二郎『論力の時代 言葉の魅力の社会学』，勁草書房，2005年)

問(1). 光源氏について、筆者の意見を 400 字以内で簡潔に要約しなさい。

問(2). 「一人になることを通して、表現リテラシーが個人の内部で熟成していくのである。」とあるが、それはなぜか。あなたの考えを 600 字以内で述べなさい。

問題2 次の文章を読み、下記の間(1)および間(2)に答えなさい。

著作権法に基づき公開しておりません。

(出典：広瀬友紀『ちいさい言語学者の冒険 子どもに学ぶことばの秘密』，岩波書店， 2017)

問(1). 下線部「過剰に一般化した規則」とは何か、400字以内で説明しなさい。

問(2). 本文以外に例を探し、そこでの「過剰に一般化した規則」を600字以内で考察しなさい。